

2004 年度 委員会活動成果報告

(2005 年 4 月 21 日作成)

委員会名	田園建築・景観デザイン小委員会	主 査 名：月舘敏栄
所属本委員会 (所属運営委員会)	農村計画委員会	委員長名：伊藤庸一
設 置 期 間	2002 年 4 月 ~ 2006 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	<p>田園地域に立地する建築の地域性と環境共生的、生活文化的な建築のデザイン手法について調査研究する。(2002~2003 年度)</p> <p>日本の農村景観資源に関する研究の一環として新潟県中越地方の農村景観と農村活性化施設に関する事例研究を計画した。(2004 年度)</p> <p>農村景観と景観資源に関する研究活動のまとめとして、青森県のリンゴ蔵景観の調査および公開研究会を行う。(2005 年度)</p>	
委員構成 (委員名(所属))	月舘敏栄(八戸工業大学) 内田文雄(山口大学) 栗原伸治(日本大学) 平田隆行(和歌山大学) 山崎寿一(神戸大学) 住谷浩(北海道工大) 大沼正憲(東北文化学園大学) 黒野弘清(新潟大) 齊藤雪彦(東京農工大) 木下勇(千葉大) 工藤和美(明石高専)	
設置 WG (WG 名:目的)		
2004 年度予算	165,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	04 年 8 月 2 8 日 公開研究会に関する幹事会を開催(3 人)
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>豪雪地である新潟県中越地方の農村景観と農村活性化施設に関する公開研究会を冬に開催する計画を進めていたが、中越地震の発生により中止せざるを得なかった。そのため具体的成果としてはまとめていない。</p> <p>上記企画の中心メンバーであった内田幹事が、農村計画委員会の中越地震に関する冬季研究会における報告が唯一の成果である。</p>
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>主査が委員会活動のリーダーシップをうまく取ることができず、成果があげられなかった。計画を進めていた新潟県中越地方の農村景観と農村活性化施設に関する公開研究会は中越地震により中止とし、中越地震をテーマとした農村計画委員会冬季研究会に報告を行ったので成果と言える。</p>
その他評価すべき事項	<p>主査の具体的成果がなく反省すべき事項だけであるが、次年度は農村景観について公開研究会を実施します。</p>